



# 讃謳我未来

～ 進路指導室だより ～

鹿児島県立曾於高等学校

第28号

令和2年3月25日(水)発行

## ▼ 別れ・出会い

桜の便りが届き始めました。別れ・出会いの季節です。3月2日に挙行された第4回卒業式では、新型コロナウイルスの影響により、保護者の方々、在校生が参加できず、非常に残念な思いをしましたが、四期生 159 名は3年間の思い出を胸に、立派な姿でこの学び舎を巣立っていきました。四期生の皆さんが、笑顔輝かせ、それぞれの新しい場所でいきいきと生活していくことを願っています。

五・六期生の皆さん、4月には七期生が入学してきます。新たな出会いが楽しみです。「曾於高ブライド」をしっかりとって、先輩として手本となる姿を七期生に見せてほしいと思います。

## ▼ めちゃくちゃ差が開きます

学校が臨時休業となり、どのような毎日を過ごしているでしょうか。次の項目のそれぞれ、1日にどれだけの時間をかけていますか。

・宿題 ・宿題以外の勉強 ・運動 ・家の手伝い  
・読書 ・TV ・ゲーム ・SNS ・ネット ・睡眠

楽しいだけやダラダラした生活を送っている生徒は、1日も早くそこから抜け出し、自分を高める、自分の進路につながる行動を始め、継続させてほしいと思います。この期間の過ごし方で、志望校や志望企業をめざすライバルたちと大きな差が開いていきます。ぼんやりと過ごしていたら、思い描いている卒業後のビジョンや、高校生活における達成したい目標がどんどん遠ざかっていきます。

そこで、何にどれだけの時間をかけるか、そして、どのように時間をコントロールしていくかを考えてほしいと思います。宿題をすることはもちろん、日頃なかなかできていなかった苦手科目克服の勉強に取り組んだり、2年生なら進学・就職の受験を意識した勉強や準備を始めたりしましょう。また、自己理解や進路希望先の研究も進めてほしいと思います。考えれば、やらなければならないことは山ほどあります。このたくさんの時間がとれる生活の中で、しっかりと力を蓄える時です。

これからの生活に対して、不安や戸惑いもあるかと思いますが、しかし今は、卒業後の進路をしっかりと見定め、再度高校生活における目標を確認し、じっくり思考を深め、基礎を固めるときです。ライバルたちと差を大きく開ける、今がそのチャンスです。

## ▼ 四期生の進路

四期生一人ひとりが進路実現に向けて、努力し、一歩ずつ前進した結果、裏面のようにになりました。全体の50.3%が進学し、就職内定者全体の42%が大隅管内(曾於市・志布志市・大崎町)と都城市の地元企業に就職しました。

後輩の皆さん、先輩方の合格・内定先を参考にし、様々なことを調べてほしいと思います。4月には進路希望調査を行います。具体的に書けるようにしておいてください。

## ▼ 3つのポイント～進路実現をめざして

### ① 早く取りかかる

毎年、3年生から「早く受験勉強を始めていたら…」 「2年の頃からやっていたら…」と受験報告を受けます。今年度も3年生全員が第一希望先に合格・内定したわけではありません。もし早く取りかかっていたら進路先も変わっていたかもしれません。

受験勉強は「部活動を引退してから」「周りが動き始めてから」と考える人も少なくないでしょう。手遅れにならないように、受験時に力をつけた自分をイメージして進路目標を設定し、特に2年生は今から受験を意識した勉強を始めてほしいと思います。

### ② 勉強を習慣づける

自宅での学習習慣が確立していなかったり、勉強量が不安定であったりして、その時の気分で勉強をしていませんか。どうすれば自然と勉強できるようになるか、安定して勉強できるようになるかを考えてほしいと思います。生活習慣を見直し、学習環境を整え、学習時間を作り、勉強するという行動をパターン化させることに向き合しましょう。

### ③ 求められる人物に近づく

多くの大学が「主体性・協働性をもって学ぶ態度を身につけた人物」を求め、また、多くの企業が「協調性やコミュニケーション能力のある人物」の採用を望んでいます。

これらが不足している生徒は、新たな取り組みや活動を行ったり、性格や行動を変えたりしていかなければなりません。そう簡単に身につけられるものではありません。時間がかかります。現在のあるがままの状態から、少しでも多く身につけられるように、変化を恐れず、意識した行動を起こし、少しずつ前進してほしいと思います。